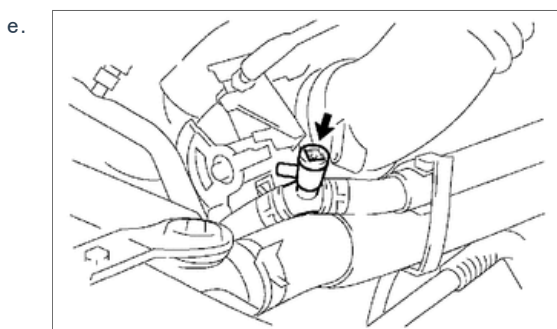


上側ラジエータブリーダプラグをソケットヘキサゴン6を使用して、上3回転緩める。

- d. 冷却液をラジエータ注入口より注水し、エア抜き部から冷却水があふれるまで注水して上側ラジエータブリーダプラグを締める。

参考：

ラジエータインレットホースおよびラジエータアウトレットホースを手で数回圧迫し、ラジエータ注入口の水位が下がる様であれば追加注水する。



ATFウオーマーホースのエア抜きバルブを締める。

- f. ラジエータキャップを締める。
 g. ラジエータリザーブタンクに冷却液を上限まで注入する。
 h. エンジンをサーモスタットが開弁するまで暖機する。
 i. エンジンを止め、冷却水が冷えるまで待ち、ラジエータキャップをはずして水位を確認する。
 j. 水位が下がっている場合は、上記手順を初めより繰り返す。
 k. 水位が下がらなくなったら、ラジエータリザーバタンクの冷却液を調整する。

3. 冷却液漏れ点検

- a. 冷却液を満水にしてテスターを取り付ける。
 b. 118kPa {1.2kgf/cm²} の圧力をかけ、各部に水漏れがないことを確認する。